

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公開番号】特開 2006-93804 (P2006-93804A)

【公開日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-014

【出願番号】特願 2004-273250 (P2004-273250)

【国際特許分類】

H 0 4 R 9/04 (2006.01)

H 0 4 R 7/12 (2006.01)

H 0 4 R 31/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 9/04 1 0 5 A

H 0 4 R 7/12 K

H 0 4 R 31/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 2 日 (2006.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 振動板部分と、該第 1 振動板部分と一体成形された第 2 振動板部分と、該第 1 振動板部分と該第 2 振動板部分との結合部の背面側に突出して設けられ、ボイスコイルボピンの一端が取り付けられる取付部とを備え、

該取付部が、該第 1 振動板部分から背面側に延設された第 1 延設部と、該第 2 振動板部分から背面側に延設された第 2 延設部とを含み、該第 1 延設部と第 2 延設部との間に該ボイスコイルボピンを挿入し、接着するためのボビン接着溝が規定されている、スピーカー振動板。

【請求項 2】

前記第 1 振動板部分および前記第 2 振動板部分が、基材に熱硬化性樹脂が含浸されてなり、前記取付部が、該熱硬化性樹脂が硬化されて成形されている、請求項 1 に記載のスピーカー振動板。

【請求項 3】

第 1 振動板部分と、該第 1 振動板部分と一体成形された第 2 振動板部分と、該第 1 振動板部分と該第 2 振動板部分との結合部の背面側に突出して設けられ、ボイスコイルボピンの一端が取り付けられる取付部とを備え、

該第 1 振動板部分および該第 2 振動板部分が、基材に熱硬化性樹脂が含浸されてなり、該取付部が、該熱硬化性樹脂が硬化されて成形されている、スピーカー振動板。

【請求項 4】

前記熱硬化性樹脂が不飽和ポリエステル樹脂である、請求項 3 に記載のスピーカー振動板。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれかに記載のスピーカー振動板を備える、スピーカー。

【請求項 6】

基材の第 1 振動板部分および第 2 振動板部分となるべき部分に熱硬化性樹脂を含浸する

行程と、

金型の、ボイスコイルボbinの一端が接着される取付部を形成する部分に該熱硬化性樹脂を供給する行程と、

該含浸した熱硬化性樹脂を硬化させて該第1振動板部分および該第2振動板部分を形成すると同時に、該金型の取付部を形成する部分に供給された熱硬化性樹脂を硬化させて該取付部を形成する行程とを含む、スピーカー振動板の製造方法。